



社協だよりクローバー

令和6年7月1日発行

vol. 133

編集・発行／比企郡小川町大字腰越618番地

社会福祉法人 小川町社会福祉協議会 ☎74-3461

ホームページURL <http://www.ogawashakyo.or.jp/>

地域包括支援センター 特集号

高齢者の生活を支援します！



●介護や健康のこと

●権利を守ること

●悩みや疑問、相談ごと

●住み慣れた場所で長く暮らすために等

私達にご相談ください。

地域包括支援センターでは、看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが中心となって高齢者の様々なご相談をお受けします。専門分野の仕事だけを行うのではなく、互いに連携を取りながら「チーム」として総合的に高齢者を支えます。



ご本人・ご家族・地域の方から相談を受け付けています。

お電話・ご来所・訪問で対応させていただきます。

社会福祉協議会（地域包括支援センター）正規職員を募集します

今回特集した地域包括支援センターでお仕事をしませんか。採用募集に関して詳しくは3ページをご覧ください。

令和6年度 社会福祉協議会会員を募集します

納めていただいた会費は「近隣たすけあい活動推進事業」など、お住まいの地域の福祉活動の財源となります。加入は任意ですが、地域福祉推進のためにご理解ご協力をお願いいたします。くわしくは5ページをご覧ください。

※社協だよりクローバーは共同募金の配分金を受けて作成されています。



第3回『施設に入りたい。』



一人で暮らしています。限界を感じていて施設に入るにはどうしたらいいですか？



生活に不安があり心配になりますね。施設は様々なタイプがあります。自分にあった施設で生活をするために、まずはパンフレットを見比べて見学することをお勧めしています。実際に施設担当者と相談しながら生活のイメージを試してみるといいと思います。
施設のタイプと言われても…
わからない時は、ぜひ地域包括支援センターへご相談ください。

地域包括支援センターが行う認知症関連事業について

令和5年度は認知症サポーター養成講座、福祉会議でのフォーラム開催、映画上映会など「認知症とは何か」を皆さんに知ってもらうことに力を入れてまいりました。

これからの活動のテーマは「本人参加」です。認知症の方ご本人やそのご家族に直接意見をうかがい、それを事業に反映させ活躍できる場所を用意します。地域包括支援センターでは、認知症であっても住みやすい地域づくりに力を入れていきます。



介護者サロン「てるてるぼうず」オープンします！！

地域包括支援センターでは、高齢者や障害のある方、病気の方などを介護している方々が情報交換できる場をオープンします。飲み物を飲みながら、同じ境遇の方と介護の悩みなどを話し合い、少しでもこころがほぐれる場となればと思います。ご参加お待ちしております。

●開催日時：午後2時～3時

1回目 令和6年 8月22日(木)

2回目 令和6年10月17日(木)

3回目 令和6年12月19日(木)

4回目 令和7年 2月20日(木)

●場 所：分校カフェ MOZART (旧下里分校)

●参加費用：ワンオーダー制 (飲食代は自己負担です)

●対 象 者：小川町在住の方を介護している家族や支援者の方が対象です。
現在介護をされている方だけでなく、介護を終えた方もご参加いただけます。

●定 員：先着10名程度 *各開催日の1週間前までに下記担当まで
お電話でお申し込みください。

●担 当：吉田 岡田 井上 ☎74-3461



募集

小川町社会福祉協議会地域包括支援センター正規職員採用募集

社会福祉協議会は社会福祉法に規定された組織で、全国の市町村にあり行政と緊密に連携しながら公的立場と民間としての立場を持ち合わせている団体です。小川町社会福祉協議会は課題を解決するために様々な事業を企画・展開しており、町の福祉分野において中核をなす存在です。そんな社協の一員として活躍してみませんか。

◇ 職種、採用予定人員 1名

◇ 応募資格

次の1～4の各号のいずれにも該当する方

1 昭和58年4月2日以降に生まれた方

2 以下のいずれかの資格を有する方

社会福祉士、保健師、看護師（相談業務の経験必要）、主任介護支援専門員、介護支援専門員

※介護支援専門員の方は、所定の実務経験後に主任介護支援専門員研修を受講していただける方

3 普通自動車運転免許を有し、自動車の運転ができる方

4 自家用自動車で概ね1時間以内で通勤可能な方

◇ 採用の時期

令和6年10月1日（ただし、内定者と相談の上変更することは可能です）

◇ 選考方法

※集合型試験は行いません。

※一次審査（書類及び面談）を行います。日程調整の上、個別に実施します。

面談では職務内容、勤務条件等を説明し、質問等もお受けします。

※一次審査合格者は、二次審査（小論文及び最終面接）を行い、内定者を決定します。

◇ 応募期間

第1回目募集

一次審査 令和6年7月8日（月）～令和6年8月20日（火）

二次審査 令和6年8月23日（金）午前：小論文 午後：面接

※第1回目募集期間で内定者が決定しなかった場合に第2回目募集を実施します。

※第1回目募集で内定者が決定した場合は第2回目募集を行いません。

※実施の有無は当協議会ホームページにてお知らせします。

第2回目募集

一次審査 令和6年8月29日（木）～令和6年10月8日（火）

二次審査 令和6年10月11日（金）午前：小論文 午後：面接

◇ お問合せ、ご質問、ご相談

社会福祉法人 小川町社会福祉協議会

小川町大字腰越618 パトリアおがわ内

電話：0493-74-3461 メールアドレス：fukushi@ogawashakyo.or.jp 担当 岸田

※詳しい募集要項は、当協議会ホームページをご覧ください。

地域包括支援センター所長の飯野です。

高齢者の方へ

当センターは、高齢者の皆様が住み慣れた地域で自分らしく元気に生活を送ることができるよう高齢者の総合相談窓口として日々活動しております。また、認知症関連の事業や高齢者の居場所づくり、家族介護者支援などの事業も行っています。日常生活のこと、ご心配なこと、介護のことなど困っていることがありましたらどんなことでも遠慮なくご相談ください。

職員採用ご希望の方へ

当センターは小川町に唯一の地域包括支援センターで、相談支援はもちろんのこと様々な事業を展開して町における高齢者支援の中核を担っております。看護師1名、社会福祉士4名、主任介護支援専門員2名、合計7名の常勤職員が様々な状況の方からご相談を受け対応しております。私たちと一緒に小川町のために働いてみませんか。ご応募をお待ちしております。



令和6年度地域福祉委員委嘱式

4月18日と23日、令和6年度地域福祉委員委嘱式を執り行い、56地区171名の方にお願ひしました。地域福祉委員は区長・民生委員と連携しながら、地域の見守り活動を行うボランティアです。みなさまが小川町で安心して生活をするために地域福祉委員の活動に、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



行政区	氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区	氏名
神明町	鈴木 圭子	池田	堀口 佐一	青下田島	山岸 優子	前高谷	山岸 幸男
	鈴木 幸子		岩田 祥一		松山 朋子		岡部 隆
	池田 照美	角山中	中嶋 功		浅海 みどり		櫻井 めぐみ
本二	大久保 一枝		関口 ユリ子		荒井 明江		佐藤 清美
仲町	町田 昭		亀井 佳子		荒井 常治		今野 雅人
稲荷町	松本 三千代	角山上	岩崎 民江	青上	山崎 ケイ子		前川 妙子
	小川 幸恵		桜井 式恵		落合 悦子	後伊	長谷川 裕子
錦町	玉尾 秀子		峯岸 文子		高須 さよ子		柴崎 里代
	笠間 良子		角谷 尚子	古寺	荒井 ひろみ		岡部 玲子
相生町	石川 永江		吉田 すみ子		青木 千雅子	西古里	横瀬 由美子
松若町	山下 景子	みどりが丘二丁目	阿部 明美		佐藤 好枝	東小川2丁目	森市 初美
緑町	小宮 君江		溝坂 尚江	飯田	新井 佐代美		浅見 和子
			溝坂 浩		柿間 弘子		片桐 壽美子
旭町	笠原 尚		友重 陽博		野口 とよ子	東小川3丁目	米澤 啓子
	新井 淑美	みどりが丘四丁目	宮澤 和雄	原川	高荷 八恵子		川村 舞岡
栄町	木島 好子		成田 愛子		吉野 朋子		町田 逸子
	新井 充子		乙黒 恵子	笠原	櫻井 きよ子		鈴木 京子
	福田 一夫		湯原 美恵子		笠原 美紀		大友 聡
	磯崎 泉	みどりが丘五丁目	笹倉 貢		吉田 順江		中島 佳淑子
春日町	島田 茂子		小川 新一		今村 美雪		黒川 早紀
	大塚 紀子		戸口 常子	鞠負	原口 政子		雨宮 朝穂
	堀口 恵子		熊田 みのり		竹澤 玲子	東小川4丁目	池上 久仁子
	落合 貴子		辰野 直弥		古川 瑛子		室井 泰世
大塚一	田口 勝彦	ダイアパレス	高橋 真矢		石川 祐子		佐藤 昌子
大塚二	白井 美智子		鈴木 恵理子	木部	島田 かおり		小島 幸枝
	後藤 光子		森 育子		清水 初江		島田 知子
	石川 昌子		高田 尚子		島田 いづみ	東小川5丁目	岩田 佐知子
大塚三	狩野 亜矢子	青下見田	高瀬 勲	下勝呂	高荷 ミサヲ		今井 眞美子
	杉山 利恵		和田 玲子		田村 ふさ子		五十嵐 牧子
	毛利 和子	青下畑ケ中	青木 富造	上勝呂	吉田 絹子		小高 かをる
大塚四	遠藤 久美子		清水 治美	上横田二	塚越 利美	東小川6丁目	石崎 とし子
	田原 とし江	腰一	大木 昌子		湯澤 さち子		田畑 光江
下小川二	後藤 美恵子		大塚 佳子	下横田	田中 賢治		村木 悦子
	千島 礼子		関根 慶則		田中 和夫		吉田 マリ子
	青木 千代子	腰二	馬場 美知子	中爪	細井 由利子		原 百合子
下小川三	山本 清美		阿左美 実千代		湯本 加子		村串 和美
	内野 雅子		金子 利枝		内田 愛子		尾島 努
	國保 佐知子		島田 康弘	奈良梨	門倉 律子		清水 文美江
下里三	新井 長子		山崎 政明		関根 淳子	中爪グリーンヒル	中島 亜規
	島田 純江	腰中	山口 よし子	能増	増田 ひさ子		福島 文子
	小池 和男		馬場 ミヤ子		根岸 洋美		阿部 千代子
池田	田中 ちか江		吉野 公子	高見	坂田 正子		浅見 初代
	井口 阿さ子	腰上	杉山 昭子		根岸 節子		
	丸山 武						

苦情解決第三者委員及び福祉サービス利用援助事業 (あんしんサポートねっと) 生活支援員・法人後見支援員

高齢者・障害者の権利擁護の要である、法人後見業務と福祉サービス利用援助事業の生活支援員は定期的に利用者の生活の場を訪ね、体調確認や生活に必要な支払い等の具体的な支援をおこないます。苦情解決第三者委員とは、福祉サービスの苦情解決制度において、客観的な第三者の視点を取り入れ、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進する方々です。

委員名	氏名 (敬称略)
苦情解決 第三者委員	馬場 吉隆
	森 明子
生活支援員 法人後見支援員	湯本 貴
	竹澤 麻里
	小原 邦夫
	島田 洋一
	田端 一義



募集 令和6年度小川町社会福祉協議会会員募集

社会福祉協議会は「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指す、民間の福祉団体です。

社協会員になることによって、一人ひとりが地域福祉活動に間接的に参加しているという意味合いになります。ご協力いただいた会費は、住民のみなさまが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、地域での福祉活動や地域活性化のための大切な財源として活用させていただいています。

毎年7月に会員募集と会費の納入をお願いしています。決して強制ではありません。社協の活動にご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

一般会費

一世帯 年額 500円

- ・全世帯にお願いしています。
- ・ご自身の地区の福祉活動推進のためにご協力をお願いいたします。

賛助会費

一口 年額 1,000円

- ・社協の趣旨に賛同していただける場合に納入をお願いいたします。

特別会費

一口 年額 5,000円

- ・さらに社協の趣旨に賛同していただける場合に納入をお願いいたします。



募集期間は7月1日から31日

～ 社協会費は何に使われているの? ～

☆ 近隣たすけあい活動推進事業

住民主体の地域福祉活動のひとつで、区長さんを中心として様々な活動(おまつり・体操・懇親会・河川清掃・防災訓練等)を地区で実施しています。

みなさまからご協力いただいた会費の50%は当該行政区での財源として還元しています。

その他にも…

☆ 元気食事券支給事業

75歳以上の一人暮らしの方(その他条件あり)の外出を促すことで引きこもりを防止

☆ 福祉協力校指定事業

町内の学校の福祉教育の財源に充当

☆ 福祉団体支援事業

老人クラブ連合会、身体障害者福祉会、手をつなぐ育成会などの活動費に充当

☆ 車いす貸出事業

短期利用目的に対応する車いすの貸出し



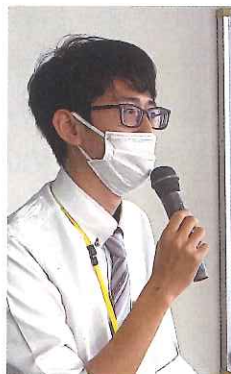
お知らせ 小川町社協の職員が県内社協職員に講義をしました

その1

県社協新任ボランティアコーディネーター研修

当協議会のボランティア担当4年目の大谷職員が、埼玉県内社協で今年度新任のボランティア担当職員に「ボランティア担当としての心得」と題して講義を行いました。

大谷職員曰く、「私でもできるのですから、みなさんすぐにできるようになりますよ」と謙虚ですが、若手職員を勇気づける内容を話しました。



その2

県社協福祉サービス利用援助事業研修

当協議会の小林職員が同事業の具体的な対応方法について、県内社協の職員と生活支援員に事例発表を行いました。

経験の浅い専門員（社協職員）と協力者である生活支援員に対して、利用者対応時の心構えや注意すべきポイントを説明しました。



お知らせ 赤十字救援車両が配備されました

小川町分区に新たな「赤十字救援車」が配備されました。

令和6年3月19日日本赤十字社埼玉県支部で引渡式が行われました。

この救援車は赤十字事業の推進と災害救護対策の充実を図るため配備されており、火災や自然災害が発生した際に、被災者へ救援物資（布団セット等）をお届けするなど赤十字活動で活用します。



お知らせ わくわく食堂

今年度より、八和田地区で新しい子ども食堂「わくわく食堂」が立ち上がりました。

子育てに悩みを抱えている家庭が増えていることをきっかけに、八和田地区の有志の方々が集まりました。子どもたちがわくわく楽しく遊んで、おいしく食べて、笑顔で帰れる、そんな安心できる居場所を目指して活動をしていきます。令和6年度は6・10・12・3月の計4回活動予定です。

詳しくは下記までお問い合わせください。

お問合せ先：☎81-6181（子育て支援課）



お知らせ 来たぞ! 移動販売車

住民の方からの「ソース1本の買い物に困っている」という声をきっかけに、東小川3丁目では移動販売車の訪問が始まりました。

見学に伺った日は雨が降っており、あいにくの天気でしたが、10人以上の方が買い物に足を運んでいました。

買い物に訪れた人たちは、「車を持っていない人は買い物に行くのも大変だから助かっています」と商品を手に取って買い物を楽しみ、近所の方と会話を弾ませていました。

日時: 毎週火曜日 午後4時～

場所: 薬局隣の町有地

(パークヒルクリニック並び)

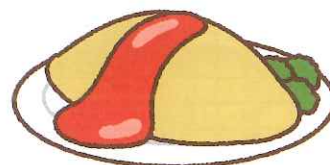


+ 赤十字奉仕団の非常時に役立つ炊き出しレシピ +

ビニール袋(高密度ポリエチレン)を使った非常時の炊き出し方法を、赤十字奉仕団のみなさんにご紹介していただきます。第9回目は「**彩り野菜オムレツ**」です。この炊き出し方法はビニール袋に食材を入れ鍋で茹でるだけで簡単に作ることができます。ぜひ参考にしてください。

材料(1人分)

- ・卵/1個 ・玉ねぎ/20g ・ピーマン/1個 ・ベーコン/1/2枚
- ・ミニトマト/1個 ・牛乳/大さじ1 ・塩 ・こしょう/少々



作り方

- ① 玉ねぎ、ピーマン、ベーコンは5mm角に切り、ミニトマトは1/4の大きさに切る。
- ② ポリ袋に卵を割り入れ、①と牛乳・塩こしょうを入れてよくもみ混ぜる
- ③ 空気を抜いてしばり形を整える。
- ④ 沸騰している鍋に入れ、10分加熱したらできあがり

～ こんにちは 生活介護事業所けやきです ～



家族連絡会を開催しました!

5月17日に家族連絡会を開催しました。施設長からの事業報告や保護者様との懇談会を行いました。特に懇談会ではテーマに沿って、色々なお話をたくさん交わす事ができ、とても有意義で楽しい時間となりました。

今年度は新たに「家族の集い」を2回開催する予定です。保護者様と職員の交流や保護者様同士の親睦、また、けやきの様子を保護者様に知っていただく機会にしたいと考えております。

けやき連絡先

電話 74-0082 FAX 74-0089



令和5年度決算 資金収支計算書 (自令和5年4月1日 至令和6年3月31日)

収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算	決算金額	差異
会費収入	5,888,000	5,643,800	244,200
寄付金収入	1,384,000	2,167,270	△ 783,270
経常経費補助金収入	48,436,000	47,547,405	888,595
受託金収入	50,709,000	50,491,460	217,540
介護保険事業収入	22,121,000	23,898,680	△ 1,777,680
障害福祉サービス等事業収入	56,523,000	53,162,140	3,360,860
その他の事業収入	7,854,000	6,071,286	1,782,714
基金積立資産取崩収入	8,620,000	3,030,000	5,590,000
積立資産取崩収入	2,189,000	336,000	1,853,000
区分間繰入金収入	58,627,000	52,774,500	5,852,500
その他の収入	9,513,000	9,401,710	111,290
収入合計	271,864,000	254,524,251	17,339,749

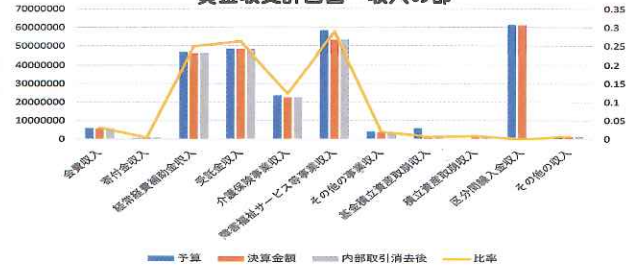
支出の部

(単位:円)

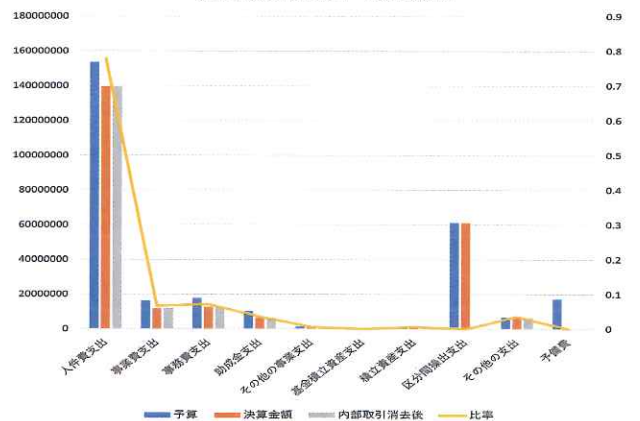
勘定科目	予算	決算金額	差異
人件費支出	161,385,000	145,349,109	16,035,891
事業費支出	15,002,000	11,171,672	3,830,328
事務費支出	19,548,000	14,564,400	4,983,600
助成金支出	12,748,000	10,095,474	2,652,526
その他の事業支出	1,658,000	1,500,597	157,403
基金積立資産支出	370,000	366,783	3,217
積立資産支出	1,180,000	1,022,400	157,600
区分間繰出支出	58,907,000	52,774,500	6,132,500
その他の支出	11,421,000	6,776,500	4,644,500
予備費	20,367,000	0	20,367,000
支出合計	302,586,000	243,621,435	58,964,565

当期資金収支差額	△ 30,722,000	10,902,816	△ 41,624,816
前期末支払資金残高	30,722,000	181,322,320	△ 150,600,320
当期末支払資金残高	0	192,225,136	△ 192,225,136

資金収支計画書 収入の部



資金収支計画書 支出の部



紹介 社会福祉協議会の役員・委員等の紹介 (敬称略) 令和6年7月1日現在

理事 14名 監事 2名

任期 令和6年度会計年度に関する定時評議員会まで

役職名	氏名	選出区分
会長	島田 康弘	行政(町長)
副会長	小暮 亮治	行政(副町長)
理事	石塚 守	区長会長
理事	高橋 功人	議会議長
理事	土田 芳夫	民生委員・児童委員協議会会長
理事	松岡 良治	商工会長
理事	永田 宏	公民館長
理事	田中由美子	ボランティア代表

役職名	氏名	選出区分
理事	田端大久實	老人クラブ連合会会長
理事	安野 育男	身体障害者福祉会会長
理事	飯塚 正	医師会代表
理事	小林 聡	教育関係
理事	中嶋 昭夫	老人福祉施設「さくらぎ苑」
理事	浅香 治代	生活介護事業所「けやき」
監事	千野 高雄	学識経験者
監事	島田 洋一	学識経験者

評議員 27名

任期 令和6年度会計年度に関する定時評議員会まで

役職名	氏名	選出区分
評議員	田中 照子	町議会
評議員	川品 健	区長会
評議員	金子 治夫	区長会
評議員	吉田 晋	区長会
評議員	大橋喜久雄	区長会
評議員	正能 和夫	民生委員・児童委員協議会
評議員	荒井美よ子	民生委員・児童委員協議会
評議員	寺山 富子	民生委員・児童委員協議会
評議員	吉田 昌栄	民生委員・児童委員協議会
評議員	杉田ヒロ子	民生委員・児童委員協議会
評議員	清水 茂	民生委員・児童委員協議会
評議員	大木 節子	民生委員・児童委員協議会
評議員	島田 勇子	民生委員・児童委員協議会
評議員	武藤 義旦	遺族会

役職名	氏名	選出区分
評議員	三浦 比登美	手をつなぐ育成会
評議員	針金美代子	赤十字奉仕団
評議員	内田 弘	老人クラブ連合会
評議員	後藤美恵子	保護司会
評議員	山口嘉津雄	環境美化推進委員会
評議員	吉田とし江	愛育会
評議員	堀江 國明	ライオンズクラブ
評議員	戸口 勝	ロータリークラブ
評議員	小暮 宗一	老人福祉施設小川ひなた荘
評議員	尾島 満矢	小川保育園
評議員	笠原 幹夫	青少年補導委員会
評議員	大塚 貞子	手話サークル
評議員	堀口 芳之	町(健康福祉課長)

評議員選任・解任委員 4名

評議員の選任と解任を行う委員です。

任期 令和6年度会計年度に関する定時評議員会まで

役職名	氏名	選出区分
委員長	正木 佳一	外部委員
委員	石川 幸市	外部委員
委員	千野 高雄	監事
委員	岸田 直幸	事務局員

法人後見運営委員 5名

役職名	氏名	選出区分
委員長	橋本 直樹	法律関係者
副委員長	馬場 信幸	福祉関係者
委員	黒澤 克己	学識経験者
委員	内田 博之	医療関係者
委員	堀口 芳之	行政関係者

令和5年度事業報告

(件数又は延件数)

補助事業

近隣たすけあい活動推進事業（実施60地区） 敬老等事業（42地区）
ふれあい・いきいきサロン事業（42地区、324回）

社協自主事業

地域福祉委員設置事業（56地区160名）、地域福祉懇談会（実施4地区）
地域支え合いサービス事業（利用会員21名、協力会員16名、利用依頼数302件、利用時間207時間）
元気食事券支給事業（402名、5,560食） 福祉協力校指定事業（町内小中高9校）
福祉移送サービス事業（1,278名、769.5時間） おたすけサービス事業（29名、60.0時間）

受託事業

生活支援コーディネーター業務 福祉分野における社会資源の把握・開発・普及
介護予防事業はつらつクラブ（249回、2,566名）

ボランティア活動事業

彩の国ボランティア体験プログラム事業（7種類、40名）
ボランティア養成講座事業（傾聴：中止、朗読：9名、手話：中止）
ボランティアセンター事業（登録団体25、個人37名、幹旋14件、54名）、傾聴ボランティア派遣事業（中止）
手話ボランティア派遣事業（5回、26名）、点字ボランティア派遣事業（4回、20名）
盲導犬ユーザー派遣事業（4回、8名） ボランティア保険加入手続窓口（312名）

福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業（4件） 小川町福祉資金貸付事業（11件）
生活福祉資金貸付制度特例貸付事業（339件 1億2,405万2,924円）

権利擁護事業

福祉サービス利用援助事業あんしんサポートねっと（相談106件、新規契約1件、契約終了2件、生活支援員活動117回）

成年後見制度事業

法人後見業務受任件数2件（後見類型：後見2件）

募金事業

日本赤十字社活動資金募集（2,029,411円） 赤い羽根共同募金（3,054,039円） 歳末たすけあい募金（2,679,159円）

災害等義援金・救援金募集事業

令和5年5月能登地方地震災害義援金（10,311円）、令和5年7月7日からの大雨
災害義援金（23,091円）、令和5年台風第2号等大雨災害義援金（1,049円）、
ウクライナ人道危機救援金（233,384円）、2023年トルコ・シリア地震救援
金（7,353円）、イスラエル・ガザ人道危機救援金（1,071円）、
令和6年能登半島地震災害義援金（2,359,254円）

災害対策・救急救命事業

災害ボランティアセンター事業（令和5年度立上げ実績なし）
他社協災害ボランティアセンターへの職員派遣
令和5年6月台風2号災害越谷市災害ボランティアセンター1名
能登半島地震災害石川県内避難災害ボランティアセンター2名
埼玉県社会福祉協議会災害ボランティアセンター支援チーム1名派遣
災害対策物品備蓄事業（非常食、非常用毛布、台風等避難者用寝具等）
火災被害者寝具・日用品支給事業（日赤事業）

イベント事業

小川町福祉会議（R5.10.22） 功労者表彰式（表彰状個人1名・団体0、感謝状個人4名・団体3）

貸出事業

車椅子貸出事業（55件） 遊具貸出事業（110件）

広報発行事業

社協だよりクローバー・ボランティアセンターだより（年4回、全戸配布） ホームページ運営

福祉団体事務局

支部社会福祉協議会（大河・竹沢・八和田） 老人クラブ連合会 身体障害者福祉会 手をつなぐ育成会
赤十字奉仕団 遺族会

介護事業

介護保険訪問介護事業所（利用者延530名 派遣回数4,165回）
障害者（児）居宅介護事業所（利用者延120名 派遣回数765回 稼働時間784.0時間）
障害者移動支援事業（利用者延47名 派遣回数167回 稼働時間294.0時間）

障害者施設運営事業

生活介護事業所けやき（年間利用延人数5,286名、稼働日241日、一日平均利用者数21.9名、平均利用率72.4%）

障害者相談支援事業

相談支援室どんぐり（利用計画書作成14件、モニタリング62件）

地域包括支援センター事業

包括的支援事業

○介護予防ケアマネジメント業務

ケアマネジメントAケアプラン新規件数45件 ケアマネジメントAケアプラン請求実績989件
ケアマネジメントBケアプラン新規件数0件 ケアマネジメントBケアプラン請求実績24件

○総合相談支援業務

高齢者の相談を幅広く受け必要なサービスや制度が利用できる支援と相談（3,827回うち新規実件数465件）

○権利擁護業務

成年後見相談（新規0件、相談25件）、高齢者虐待対応（新規4件、相談33件）、その他（新規0件、相談27件）
グループホーム運営推進会議・情報交換会（6回）

○包括的・継続的ケアマネジメント業務

ケアマネジャーからの個別相談（543件）、サービス事業者からの相談（120件）、
地域ケア個別会議（自立支援型8回、困難事例7回）、ケアマネジャー事例検討会・情報交換会（6回）、
ケアマネジャー研修会（1回）

○認知症関連事業

認知症サポーター養成講座（4回）、認知症カフェ運営（12回）、認知症講演会（1回）、映画上映会（1回）

指定介護予防支援業務

介護予防支援ケアプラン新規件数（請求実績あり65件、請求実績なし51件）、介護予防支援ケアプラン延実績件数（1,772件）、
要支援者及び総合事業対象者の相談対応（2,280回）

その他

介護マーク普及事業（9名）、救急医療情報カード配布（8名）、交通安全アドバイス（125名）、地域の講演会への講師派遣（1回）
土日祝日及び夜間業務（電話45件、訪問4件）



- ④ 感染症に罹患した利用者、職員が発生した場合、感染拡大を防ぐため嘱託医の助言を受け適切に対応します。
- ⑤ 朝の体操や散歩などで楽しく体を動かす機会を作り、機能低下、肥満防止に向けた支援をします。
- ⑥ 感染症予防のもと、レクリエーション、外出、季節行事などを実施します。
- ⑦ ご家族との連絡を通して家庭状況を把握し、関係機関との連携を図ります。
- ⑧ ご家族と職員の交流を図る会を開催します。
- ⑨ 虐待防止委員会を設置し、不適切支援を防ぎ利用者の尊厳を守ります。
- ⑩ けやき職員行動規範に沿って、適切な支援態度を遵守します。
- ⑪ 感染予防委員会を設置し、感染対策を徹底します。
- ⑫ 職員の各種研修会への参加、ケース会議、施設内勉強会等を実施し専門性の向上に努めます。
- ⑬ 強度行動障害者の支援の専門性を高めます。

指定特定相談支援事業

障がい者（児）の自立と社会参加の促進を図るため、障害福祉サービス、社会資源等を利用するための相談支援を行います。また、各サービスや事業所に関する情報提供、専門機関の紹介、権利擁護のための必要な援助を行います。

1 支援目標

ご利用者様の個々の生活状況及び意向等のニーズに基づいたサービスの提供が図られるよう支援します。

2 支援内容

- ① ご利用者様、ご家族様から面談や電話で意向を聞き取り、サービス等利用計画書を策定します。
- ② 必要な障害福祉サービスや社会資源が利用できるよう関係機関、障害福祉サービス事業者等に連絡、調整します。
- ③ サービス担当者会議を開催し、サービス等利用計画書に関してご利用者様、ご家族様、関係機関で協議及び共通認識を図り、円滑で継続的なサービス利用につなげます。
- ④ モニタリング（中間評価）を実施し、障害福祉サービスが適切に提供されているか、新たな意向や課題がないか等を定期的に点検します。
- ⑤ 困難ケースについては、行政機関や医療機関、町内相談事業所連絡会や基幹相談支援センターに相談し適切に対応します。

(5) 地域包括支援センター事業

小川町高齢者福祉計画・介護保険事業計画（第9期）、小川町地域包括支援センター基本方針・運営方針に基づいて基本理念である「住み慣れた地域で、生きがいをもって安心して健康で自立した生活が送れるまち」づくり（地域包括ケアシステム）を推進するため、地域包括支援センターは次のことに取り組んでいきます。

- ① 認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、医療や介護など関係機関との連絡調整や認知症に関する正しい知識と理解を深め、地域全体で認知症の方の見守り活動が広がるよう取り組みます。
- ② 高齢者を介護する家族に対し、介護負担を軽減するための相談援助、介護に関する情報・知識・技術の提供、家族介護者同士の支えの場の確保等を進めて家族介護者に関する周囲の理解促進を図ります。
- ③ 個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを介護支援専門員が実践できるように地域の基盤を整えるとともに、介護支援専門員が抱える困難事例等への指導・助言・連携などの支援を行います。また、ケアマネジャーの資質・専門性の向上を図るための研修を実施します。
- ④ 高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活ができるよう、権利擁護のための相談や情報提供、高齢者虐待防止、消費者被害防止及び成年後見制度の普及啓発に努めます。

令和6年度 収支予算書

収入の部

(単位：千円)

支出の部

(単位：千円)

科 目	令和6年度	令和5年度	差引	比率
①会費収入	5,694	5,888	▲ 194	2.5%
②経常経費補助金収入	53,077	51,358	1,719	23.1%
③受託金収入	51,896	48,551	3,345	22.6%
④事業収入	935	1,011	▲ 76	0.4%
⑤負担金収入	1,605	1,665	▲ 60	0.7%
⑥介護保険事業収入	22,104	22,121	▲ 17	9.6%
⑦障害福祉サービス等事業収入	53,560	56,523	▲ 2,963	23.3%
⑧その他収入	3,494	4,622	▲ 1,128	1.5%
⑨基金積立資産取崩収入	8,494	8,620	▲ 126	3.7%
⑩積立資産取崩収入	2	1,501	▲ 1,499	0.0%
⑪その他の活動による収入	2	7,701	▲ 7,699	0.0%
⑫前期末支払資金残高	29,088	28,984	104	12.6%
⑬収入合計（内部取引消去）	229,951	238,545	▲ 8,594	100.0%

科 目	令和6年度	令和5年度	差引	比率
⑯人件費支出	149,048	159,367	▲ 10,319	64.8%
⑰事業費支出	15,629	14,811	818	6.8%
⑱事務費支出	19,660	18,191	1,469	8.5%
⑲助成金支出	13,128	13,048	80	5.7%
⑳固定資産取得支出	4,001	3,601	400	1.7%
㉑積立資産支出	1,187	1,180	7	0.5%
㉒その他の活動による支出	9,235	7,770	1,465	4.0%
㉓予備費支出	18,063	20,577	▲ 2,514	7.9%
㉔支出合計（内部取引消去）	229,951	238,545	▲ 8,594	100.0%

㉕法人内区分間繰入金支出	56,627	59,017	▲ 2,390
㉖支出合計	286,578	297,562	▲ 10,984

⑭法人内区分間繰入金収入	56,627	59,017	▲ 2,390
⑮収入合計	286,578	297,562	▲ 10,984

令和6年度（2024年度）事業計画

基本方針

（1）法人運営事業

令和6年度は、各部門の事業を積極的に実施していきます。法人としては、今後の事業展開を見据え、多様な業務に対応できるよう職員体制の確立に努めます。

窓口や電話対応では介護のみならず、家庭における様々な内容の相談を受ける事例が多いため、相談受入体制の充実及び職員の利用者への対応力向上は急務であります。令和5年度は、職員の退職による欠員があり事務執行に困難がありましたが、年度途中の人事異動により体制を整え、年度後半は順調に運営できる状況になりました。今後さらに体制強化に向けて善処してまいります。そのため、以下の項目について重点的に対応します。

- ① 地域包括支援センターに正規職員を新規採用し増員を図ります。それにより高齢者やご家族からの相談に広く対応できるよう体制を強化します。
- ② 既存の正規職員の職能強化のため資格取得支援を行います。
- ③ 臨時職員について根本的に制度を見直し、処遇改善と職務担当責任のバランスを向上させます。

（2）地域福祉事業

「地域における人と人とのつながり」が認知症予防や介護予防につながることを踏まえて、区長、民生委員・児童委員、地域福祉委員やその他の地区役員と連携して孤立・孤独を防止します。誰一人も取り残さない地域づくりを進めていきます。

- ① 地域福祉委員制度について
平成28年度開始以降、順調に委嘱人数が増えてきています。しかし、さらなる多様な役割を求める声があり、制度の改正が必要な時期に来ていると考えられますので、配置基準の見直し等の対応をしていきます。また、高齢者のみならず、「子どもの見守り」をテーマとして研修を実施し、対応範囲の拡大を図ります。
- ② 行政区に出向いての地域福祉懇談会について
地域の課題を洗い出し解決に向けた具体的支援の動きを加速させます。また、町が実施した「介護予防・日常生活圏域二一調査」において最も不安感情が高かった竹沢地区を中心としてアンケート調査の実施、地域のつながりづくり等に積極的に関わっていきます。ふれあい・いきいきサロンの拡充、百歳体操への参加支援など地域住民が参加できるよう支援を継続します。これらの支援は「生活支援コーディネーター」がアウトリーチにより直接地域に関わることで進めていきます。
- ③ 災害対応について
当町が被災した場合を想定して災害対応力の強化を進めます。災害発生時に協力していただける団体・個人との連携を平時から構築していきます。
他県や他市町村の被災地支援への協力も積極的に進めます。被災した市町村の災害ボランティアセンターは、被災していない市町村社協の職員が運営する方式が一般的になっています。こうした社会福祉協議会の全国的ネットワークは、この10年間で飛躍的に進化しています。そのため、能登半島地震被災地災害ボランティアセンター等被災地への応援職員派遣を積極的に進めます。
- ④ 傾聴ボランティアについて
日常の生活のみならず、被災者とかかわる場面でも「傾聴」の行動が非常に重要と考えられます。そうしたことも踏まえて、コロナ禍により活動停止していた「傾聴ボランティア」活動を再開します。
- ⑤ 成年後見（法人後見）事業について
受任中の2件の対応強化を図ります。また、新規案件についても2～3件の受任を目指します。身上保護の支援を中心としますが、必要に応じて相続手続き（遺産分割、登記等）や資産の処分等の財産にかかわる支援も積極的に対応していきます。

（3）介護福祉事業

訪問介護事業所として事業実施するためには、管理者、サービス提供責任者、一定数の訪問介護ヘルパーが必要であります。しかし、新規に職員を雇用することは難しい状況であり、現在所属する11名の平均年齢も高くなっており、介護保険サービス提供事業所の典型的パターンになっております。

（4）障害者支援事業

障害者施設事業

- ・ご利用者様の安心・安全、権利擁護を最優先とし、障害特性への理解を深め、一人一人の意思決定を大切にされた支援をします。また、新型コロナウイルス感染症のみならず、あらゆる感染症の予防対策を徹底します。

1 支援目標

- ① 個別支援計画に基づき、個々の意思や希望に合わせた支援をします。
- ② 加齢に伴う心身の状態の変化に即応し、適切に支援します。
- ③ 様々な感染症の予防のため「感染対策マニュアル」に沿った対策を講じます。
- ④ 虐待防止委員会を開催し、権利擁護と職員行動規範の遵守を推進します。
- ⑤ 行政の障害福祉担当、医療機関、相談支援事業所や居宅支援事業所など、関係機関との連携を図り、家庭環境の変化に応じ、家庭や地域での生活が円滑にいくよう支援します。

2 支援内容

- ① 個別支援計画を策定し、行動特性や高齢化、重度化に配慮した個別支援の充実を図ります。
- ② 個人の意思や希望に合わせた活動を提供し、楽しく充実感が得られるようにします。
- ③ 様々な感染症の予防のため、1日2回の検温、健康観察、手指の消毒、マスクの着用、換気、空気清浄機の設置、適切な室温湿度の管理、室内の清掃、消毒を徹底します。

ボランティアセンターだより

夏のボランティア体験プログラムに参加しよう！

夏のボランティア体験プログラムとは、ボランティア活動に興味や関心はあっても、参加するきっかけがなかった方を対象にした事業です。初めてのボランティア活動でも安心して参加できるメニューを用意して、皆さんをお待ちしています。

事前説明会のお知らせ プログラム参加にあたり事前説明会にご参加ください（当日受付）

日 時 7月 19日(金) 午後2時～

★メニューの内容や諸注意の説明等を行います。

会 場 リリックおがわ 2階 会議室5

★事前説明会に参加できない方はご相談ください。

申 込 み お電話で事前にお問合せいただき、「参加申込みカード」をご提出ください。社会福祉協議会の窓口またはホームページよりダウンロードできます。また、町内の小学校・中学校・高校には案内を配布しています。

受付期間 7月1日(月)～7月31日(水) 日曜日・祝日を除く

注意事項 ＊先着順で受け付けます。受付期間中でも定員になり次第締め切ります。

＊受付期間が短い・受付終了日より前に開催するプログラムもあります。

No.	内 容	場 所	日 時	対 象	定 員
1	はつらつクラブのお手伝い ・高齢の方との交流 ・体操 ・レクリエーションの補助 ※持ち物…タオル	大河公民館	8月6日(火) 9時～12時	小学生(親子) 中学生 高校生 大学生	各日5人
		みどりが丘自治会館	8月6日(火) 13時～16時		
		大塚コミュニティセンター	8月1日(木)・8月8日(木) 13時～16時		
		八和田公民館	8月2日(金)・8月9日(金) 9時～12時		
		ココット	8月2日(金)・8月9日(金) 13時～16時		
		下里四区民センター	8月7日(水) 9時～12時		
		東小川自治会館	8月7日(水) 13時～16時		
2	打って送ろう 点字のおたより ・点字の打ち方等を学ぶ ・暑中見舞いを打つ	リリックおがわ 2階 会議室5	8月7日(水) 10時～12時	小学生(親子) 中学生	15人
3	フードパントリーのお手伝い ・フードパントリーで渡す品物の袋詰め、お渡し	ココット	8月31日(土) 10時～15時 ※持ち物…お弁当、飲み物	中学生 高校生 大学生	4人
4	児童館で保育体験 ・遊び相手 ・行事のお手伝い	児童館	火曜日～土曜日 8時30分～17時 7月23日(火)～8月31日(土) ※2日以上参加できる人 ※申し込みの際に説明がありますので、必ず事前説明会に参加者本人がお越しください	中学生 高校生 大学生	各日2人
5	小学生の料理のお手伝い ・料理(カレー) 補助 ・遊び相手	談話室おかもと (腰越)	7月20日(土) 10時～13時 ※持ち物…タオル、エプロン、三角巾、上履き	中学生 高校生	2人
6	災害炊き出し訓練 ・ビニール袋を使ったカレーづくり体験	大河公民館	8月7日(水) 9時30分～12時30分 ※持ち物…タオル、エプロン、三角巾	小学生(親子) 中学生 高校生	15人
7	親子お祭り広場の お手伝い ・七夕祭りで親子お祭り広場の運営を手伝います。	小川町役場入口	7月27日(土) 15時～18時 ※事前説明会で当日の活動についての説明がありますので必ずご参加ください。	小学生(親子) 中学生 高校生	なし
8	夏休み工作体験 ・高齢者が楽しめるゲームを手作ります。 夏休みの宿題にもピッタリ！	リリックおがわ 2階 会議室5	7月30日(火) 13時30分～16時30分	小学生(親子) 中学生 高校生	なし

申込み・問合せ 小川町ボランティアセンター（小川町社会福祉協議会内） ☎ 74-3461 担当：大谷

みんなで作って
食べよう

子どもたちあつまれ～

暑さに負けない！カレーづくり体験

内 容 カレー作り
日 時 7月20日(土) 10時～13時
場 所 談話室おかもと
対 象 小学生12人(先着順)
費 用 無料
持ち物 タオル・エプロン・三角巾・上履き・マスク

